

石井市長公約 OPEN！西宮 進捗状況(集計表)

令和2年3月公表

区 分	○ 達成又は 計画的に進行中	△ 一部進行中	→ 検討中	計
重点3政策	1	2	0	3
1. みんなと動かす	4	3	3	10
2. みんなと学ぶ	5	6	1	12
3. みんなと暮らす	3	10	2	15
合 計 (重点3政策は除く)	12	19	6	37

政 策		令和元年度までの実績、取組状況	令和2年度以降の取組予定 (令和2年度予算への計上内容含む)	進捗状況
重点 3 政策	政策1 市長退職金改革から始まる、市役所改革	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年9月議会において、現任期にかかる市長の退職手当を不支給とする条例を制定しました。 ・令和元年10月に「西宮市行政経営改革基本方針」を策定し、「前期実行計画(令和2～4年度)」の案を作成しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の条例に基づき、市長の退職手当を不支給とします。 ・「西宮市行政経営改革 前期実行計画(令和2～4年度)」を策定し、行政経営改革に向けた取組を進めていきます。 	○
	政策2 待機児童ゼロ、子ども子育て応援宣言	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)幼児教育・保育ビジョンの作成及び教育大綱の改定に着手したほか、市立学校のコミュニティ・スクールの導入に向けた準備や、子ども食堂の全学区区への配置を目指して支援を行いました。 ・待機児童対策については、受入枠拡大に向けて、民間保育所等の整備を中心に事業を進めるとともに、私立幼稚園預かり保育支援事業の拡充など促進策の充実に取り組みました。また、認可外保育施設利用料補助事業を拡充しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、社会全体で子育てや教育を支える仕組みづくりの取組を進めていきます。 ・待機児童対策については、受入枠拡大に向け、民間施設の整備を中心に事業を進めるとともに、促進策の充実にも取り組んでいきます。 	△
	政策3 シニアもみんなも生き生きするやさしいまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線については、新たに「小曾根線直進路線」及び「今津港経由路線」の運行が開始となりました。また、コミュニティ交通導入に向けた地域の取組への支援を行うほか、シェアサイクルの利用動向調査を開始しました。 ・高齢者や女性の視点など世帯の状況に応じた備えを充実させて防災マップを一新しました。 ・快適で安心なまちづくりのため、構想段階にあった事業を着実に前進させました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、バス路線の拡充などの移動環境の改善に取り組みます。 ・防災については、自らの避難を考えることができるような防災マップの配布など、自助・共助を強化し、公助とあわせて災害対応力の強化を図ります。 ・シチズンシップの醸成や公園のパワーアップなどを進め、市全体が明るい生き生きとしたやさしいまちへとなるような取組を進めます。 	△

政策		令和元年度までの実績、取組状況	令和2年度以降の取組予定 (令和2年度予算への計上内容含む)	進捗状況
1 みんなと動かす	「市長へのホットライン」の創設	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年に本庁等に「市長への手紙(投函箱)」を設置し、ホームページ「市民の声」投稿フォームや郵送で寄せられたものを含め、頂いた意見・提案に目を通し、必要な対応、検討を行いました。 市民の声の受付件数や、市民の声(市長への手紙)で頂いたご意見・回答の内容をホームページで公開しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市長が「市長への手紙(投函箱)」やホームページ「市民の声」投稿フォームや郵送で寄せられた意見・提案に目を通し、必要な対応、検討を行います。 これまで以上に、市民の声(市長への手紙)で頂いたご意見・回答の内容を公表していくため、「市民の声システム」を構築します。 	○
	情報「フルオープン」構想	<ul style="list-style-type: none"> 市民との情報共有をより進めるために、広報・広聴の考え方の指針となるガイドラインの策定に取り組みました。 オープンデータの充実を図り、より使い易いオープンデータサイトにリニューアルするとともに、地図と連携した保育所等空き状況の公開を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 策定されたガイドラインをもとに、市民へのより分かりやすい情報発信や市民の市政参画・協働に資する情報公開の具体的な方策を検討していきます。 まずは、予算・決算の分かりやすい広報に取り組みます。 さらにオープンデータの充実を図るとともに、複雑な行政手続きを容易に案内するなど、ICTを活用した情報公開に取り組みます。 	△
	「市民提案型予算枠」の導入	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業として、市民からの提案に基づき協働で事業を実施する「未来づくりパートナー事業」があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加が進むよう「未来づくりパートナー事業」を検討していきます。 さらに市民参加が進むような取組について研究していきます。 	→
	「いっしょにしましよ課(仮称)」の創設	<ul style="list-style-type: none"> 市民の声を的確に受け止め、組織で共有し、施策に反映させること及び市民の市政への参画や協働を促すことを目的に、現状の業務の進め方をこの趣旨に沿うよう改善を進めました。 市民や市民活動団体の自発的な活動が活発になるように、助成金や物品貸与などの支援制度をまとめた「市民活動等に対する支援制度一覧」を作成しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民の協働を促し、市民の立場に立った市役所の仕組みづくりについて研究を進めます。 課の創設については、公約の趣旨に沿った対応にどこまで近づけることができるか、今後も調整・検討を行っていきます。 	△
	若い声を市政へ! 「未来人材枠」の創設	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)幼児教育・保育ビジョンの策定にあたって、「子育て世代を中心とした市民会議 子ども未来カフェ」を開催し、子育て世代の参加を促す取組を行いました。 幅広い年齢層に利用者が多いLINEを、新たな広報広聴のツールとして導入しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から設置される生涯学習審議会に、20代など若い世代の参加を検討します。 また、若年層の声を市政に反映させる取組を進め、LINEを活用した市民アンケートの仕組みなどについて、研究に取り組みます。 	△
	「市民参加型行政レビュー」の実施	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に「行政評価等検討懇話会」を設置し、他市の取組について研究しました。 平成30年度に23件の事務事業の棚卸しを実施するとともに、行政評価の効果的な実施手法について検討しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政評価等検討懇話会を開催し、事務事業の棚卸しを行いながら効果的な行政評価の手法について検討するとともに、市民の声を反映させる方法について研究します。 	→
	Free Wi-Fi まちづくり構想	<ul style="list-style-type: none"> 先進自治体の事例調査、設置予定の関係部門へのヒアリングを順次実施し、設置場所の選定を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度中に市内10数か所でサービスを開始します。 アンケート調査の実施について検討します。 	○

政策		令和元年度までの実績、取組状況	令和2年度以降の取組予定 (令和2年度予算への計上内容含む)	進捗状況
1 みんなと動かす	市長が率先垂範「市長給与削減」	・平成30年6月議会において条例を改正し、市長給与の削減を実施しました。	・左記の条例に基づき、市長給与の削減を任期満了まで継続します。	○
	市役所で一番アクティブなのは「市長！」	・学校や保育園などを訪問し、随時ホームページで公開しました。 (平成30年度78件、令和元年度71件) ・市政報告・広聴会(S. N. Sミーティング)を平成30年度延べ6回、令和元年度延べ14回実施しました。 ・幹部職員や若手職員・子育て世代職員とのミーティングを実施したほか、メールによる職員から市長へ直接提案できる「職員の声」を開始しました。	・引き続き、積極的に現場に赴き、現場の声を聞いていきます。 ・また、様々な職員とのコミュニケーションの充実を図る手法を検討していきます。	○
	幹部職員への積極的な女性登用	・西宮市特定事業主行動計画の後期計画(令和2～7年度)で、本市の課長級以上の管理職に占める女性の割合の数値目標を20%(前期計画:15%)に設定しました。	・職員に対する意識調査を実施し、昇任意欲を醸成する取組に向けた分析を行っていきます。 ・女性を始めとした皆が働きやすい職場づくりに向けて検討します。	→
2 みんなと学ぶ	公立全校コミュニティ・スクール化	・視察・研修等を通じ制度を構築し、リーフレット等を作成しました。 令和2年度からコミュニティ・スクールに移行する学校の協議会委員の委嘱事務を進めました。	・パイロット校11校でコミュニティ・スクールをスタートさせます。 令和3年度に移行する学校の準備を進めます。	○
	社会人経験者の教員養成支援	・公約策定の際に課題と考えた「教育現場における若手教員の急増」「管理職適正年齢の減少」について、教育委員会が課題意識をもって現場研修を実施するなどしています。採用を行う県教委も採用年齢を上げて社会人経験者の受け入れを促しています。	・教育現場に多様な経験を有した人材が参画できるための制度の研究や、公約そのものの実現について研究を進めます。	→
	小中、中高「公立一貫校」設置の検討	・令和2年4月に「西宮市立総合教育センター付属西宮浜義務教育学校」が開校します。 地域や学校、職員などで開校に向けた検討を進めました。 ・外国語学習を中心に小学校と中学校の教員研修を合同で行うなど、連携強化を進めました。	・総合教育センター付属校としての先端技術の効果的な活用を通じた「子供の力を最大限引き出す学び」の実現に向けて研究を進めます。 ・また、小中連携の強化や中高のつながりについての研究を行います。	○
	全学校区へ「子ども食堂」創設支援	・子ども食堂開設相談窓口(電話)を開設しました。 ・令和元年度に西宮市子ども食堂シンポジウムを開催しました。	・引き続き、子ども食堂開設相談窓口(電話)を実施します。 ・市内で子ども食堂開設希望者等を集めた「(仮称)子ども食堂応援ミーティング」を開催し、全学校区での創設の実現を目指します。	○
公立学校トイレの洋式化加速	・令和元年度のトイレ改修は、2校6箇所で行いました。 ・香櫨園小学校校舎改築にあわせて、マンホールトイレを整備しました。	・令和2年度からは、長寿命化改修事業としてトイレ改修を実施し、洋式化についても令和2年度から加速化します。 令和2年度のトイレ改修予定は、4校16箇所です。 ・マンホールトイレは、校舎等の改築時等に合わせて、整備していきます。	△	

政策		令和元年度までの実績、取組状況	令和2年度以降の取組予定 (令和2年度予算への計上内容含む)	進捗状況
2 ・ み ん な と 学 ぶ	図書館パワーアップ計画	<ul style="list-style-type: none"> 返却ボックスを市民会館に設置しました。 司書の専門性をより生かした運営体制への見直しを進め、レファレンス機能の充実及び学校図書館の地域開放など、読書振興及びサービス向上の取組に向けた検討を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 北部図書館の貸出・返却などの基本業務を委託し、専門職である司書を中央図書館に集約して中央館機能を強化し、アウトリーチによる事業の展開などサービスの充実を目指します。 公民館など公共施設4ヶ所に返却ボックスを設置します。 西宮浜義務教育学校の学校図書館を地域開放し、市立図書館の本の貸出・返却などを行います。 	△
	西宮「コミュニティ・カレッジ」構想	<ul style="list-style-type: none"> 女性の社会参加や就労について、ハローワーク等関係機関と連携し、就業や再就職の支援を継続しました。 キャリア形成セミナーの開催や、大学等が実施するリカレント教育プログラム等について情報の収集と提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内大学との連絡調整を密にしつつ、左記の情報の収集と提供に引き続き取り組んでいきます。 シチズンシップを育み、学びを地域課題の解決につなげていくことを目指し、先進市の事例などを研究していきます。 	△
	質の高い幼児教育の実現	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)西宮市幼児教育・保育ビジョンの策定に向けて学識経験者等からなるワーキングチームでの議論を行うとともに、幼稚園教諭・保育士等が参加するワークショップを開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)西宮市幼児教育・保育ビジョンを策定し、西宮市の全ての幼稚園、保育所等において、そのビジョンに基づいた子育て環境の実現に取り組みます。 	○
	スポーツ環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 既存の施設の運用見直しについては中央体育館アリーナにおいて、週末を中心として夜間時間帯の開館時間延長を試行実施しました。 学校園の運動場の一部分の芝生化を、令和元年度は2校(小・幼各1校)で実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の運用見直しについては、引き続き試行実施を継続し、本格的な実施に向けて課題整理を行っていきます。 中央運動公園の再整備を進め、陸上競技場のインフィールドを人工芝にしています。 	△
	「環境学習都市」潜在力アップ	<ul style="list-style-type: none"> 「環境基本計画」や「生物多様性にしのみや戦略」に基づき、豊かな自然環境の保全や環境学習の場としての利活用を、市民・各種団体との連携を強化しながら協働で取り組みました。 里山活動については、生物多様性にしのみや戦略に基づき、甲山・社家郷山・ナシオンなどで、地域住民・NPO・企業が主体となって実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業を継続すると共に、さらに実践的な取組みに向けて研究を進めます。 社家郷山周辺での「企業の森づくり事業」による里山の保全と利活用を継続するとともに、キャンプ場の再整備方針を検討していきます。 	△
	都市間交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に新たな交流として、ブラジル ロンドリーナ市出身者が市内企業にてお菓子作りの研修を受ける取組を支援しました。 スポークン市との姉妹校交流においては、一部の小学校で、武庫川女子大学の学生の仲介による、作品交換などを実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> よりグローバルな交流を進めるために、現在の交流内容を整理した上で、国際交流協会・市民交流団体等と連携し、交流の充実を図っていきます。 姉妹校交流や各校独自の取組について、学校の支援を継続していきます。 	△
	郷土の歴史、災害の教訓を受け継ぐ教育	<ul style="list-style-type: none"> にしのみやデジタルアーカイブを充実させ、歴史資料の学習利用促進を図りました。 災害の教訓を受け継ぐ教育については、阪神・淡路大震災についての学習に加えて、最近の災害の様子などの新しい情報についても紹介するよう副読本の改定を進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、にしのみやデジタルアーカイブを充実させ、歴史資料の学習利用促進を図っていきます。 地域文化財保存活用計画を策定し、市域の文化財等を核にした歴史ストーリーを組み立てて文化財群を面的に保存・活用していきます。 中央図書館、郷土資料館、平和資料館が連携した、総合的な郷土史学習について検討していきます。 	○

	政 策	令和元年度までの実績、取組状況	令和2年度以降の取組予定 (令和2年度予算への計上内容含む)	進捗状況
3 ・ み ん な と 暮 ら す	地域雇用の創出、産業政策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所と連携しながら、中小・小規模事業者が抱える課題に対し、課題発見から解決まで、継続的にサポートする伴走型支援を強化しました。 ・創業支援事業の取り組みの意見交換をする場として、商工会議所と市を中心に、関係機関で構成する「創業支援プラットフォーム」の構築に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、商工会議所と連携しながら、中小・小規模事業者が安心して経営相談等が受けられるための相談支援体制づくりに取り組みます。 ・創業支援プラットフォームにおける協議を踏まえながら、食やIT、女性向けなど、オーダーメイド型の新たな起業塾を検討します。 	△
	自転車や歩行者が安全なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行空間や自転車駐車場の整備などのハード施策、自転車安全教室や各種広報活動、放置自転車対策など、自転車利用ルールの周知やマナー向上などのソフト施策を取りまとめた、「自転車利用環境改善計画」の策定に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自転車利用環境改善計画」に基づくハード施策として、自転車の通行位置を明示した道路上の表示(矢羽根やピクトマーク)の設置、自転車事故の多い個所への注意喚起看板の設置を進めます。 	△
	ソフトパワー拡充による防災強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災リーダーを育成するための、防災士の資格取得に係る経費を補助しているほか、地域での出前講座等で地域が主体となった防災活動の重要性を啓発しました。 ・高齢者や女性の視点など世帯の状況に応じた備えを充実させて防災マップを一新しました。また、4か月健康診査において「赤ちゃん和妈妈を守る防災ノート」を配布しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、防災リーダーの育成や出前講座等、ターゲットに応じた研修を実施するなど、地域防災の担い手となる人材育成に取り組みます。 ・新たに公表されたハザードを更新するとともに、自らの避難を考えることができるよう紙面に工夫を加えた防災マップを全戸配布します。 	○
	人と動物が共生できる西宮市!	<ul style="list-style-type: none"> ・所有者のいない猫不妊手術助成金については、補助件数を増やして実施しました。 ・不妊手術助成制度、ミルクボランティア制度、休日譲渡会を実施しました。 ・また、各自治体のペット同行避難訓練実施内容等を研究したほか、避難所におけるペット受入れ時の職員向けマニュアル(案)を作成しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所有者のいない猫不妊手術助成金については、雄猫の助成単価を引き上げ、補助件数を増やして実施します。 ・野良猫の収容状況等に応じ、適宜、ミルクボランティアを増員するほか、休日譲渡会の開催、広域譲渡を推進します。 ・各自治体の実施内容、作成した職員向けマニュアルに基づき、獣医師会、関係係局等と調整のうえ、職員向け訓練を実施します。 	△
	地球環境を積極的に守るまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・EWCエコカードのアースレンジャーに6年間継続して認定された小学生と市長との対談を実施しました。 ・電力の小売り自由化により困難になった市域の電気、ガス使用量把握のため、モニター事業を実施し、調査と意識づけを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁的に取り組む体制を整え、市をあげての環境施策を検討していきます。 ・省エネ・創エネ設備導入促進補助金を見直し、燃料電池・蓄電池導入促進補助金を創設します。 ・省エネチャレンジ、うちエコチャレンジ等一般市民向け啓発事業を実施します。 	△
	「どうぞベンチ」プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチの設置場所の検討を行い、「どうぞベンチ寄附金」として「ふるさと納税」のメニューに追加し、寄附を募りました。 ・既存事業では、バス事業者に対するバス停整備のための補助を行っており、平成30年度からの2か年で、16箇所のバス停にベンチが設置されました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた寄附金額に応じてベンチ設置工事を実施していきます。 ・さらに、寄附以外でのベンチの設置について検討します。 	△
	公共交通の改善で移動しやすいまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線については、新たに「小曽根線直進路線」及び「今津港経由路線」の運行が開始となりました。 ・コミュニティ交通導入検討地区への支援を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、コミュニティ交通導入検討地区への支援と、特に名塩地区では試験運行の実施に向けた各種検討・調整への支援を行います。 ・自動運転に関する国及び他都市の動向、公道実証実験などの情報収集を行います。 	△

政 策		令和元年度までの実績、取組状況	令和2年度以降の取組予定 (令和2年度予算への計上内容含む)	進捗状況
3 ・ み ん な と 暮 ら す	シェアサイクルの導入	・シェアサイクルの利用動向調査を開始しました。阪神西宮駅や甲子園駅、浜甲子園運動場などにポートが設置されています。	・引き続き、利用動向調査を実施し、本格導入に関する協議等を進めていきます。	△
	高齢者のイキイキ支援「健康づくり」「ボランティア」	・「庁内健康増進計画推進会議」において、健康ポイント事業について検討しています。 ・「地域住民による公園清掃等管理委託」制度を拡充し、自治会等との連携を図るための調査を行いました。	・引き続き、健康ポイント事業について検討を進め、実現を目指します。 ・「地域住民による公園清掃等管理委託」制度については、積極的な公園管理の協力が得られる団体との連携強化を図るほか、制度拡充の参考とするモデル実施を試行します。 ・公園の遊具の更新時には、地域の意見を聞きながら健康遊具の設置に努めていきます。	→
	「家族と一緒」の、医療・介護	・地域包括支援センターに、社会福祉士などの資格を有する専門職を配置し、身近な地域で在宅介護をはじめ様々なご相談に対応する体制を整備しています。 ・「認知症初期集中支援事業」におけるICTツール導入を実施しました。	・適宜適切な相談支援が提供できるよう、地域包括支援センターの職員を増員し、専門職の適正な配置を含めた体制の充実・機能強化に取り組めます。 ・介護にかかる家族等の負担軽減を図るためのICT化の取組についても積極的に進めていきます。	△
	産前産後ケアの拡充	・助産師による産後ケア訪問事業を、体制を増員して実施しました。 ・乳児相談を、順次児童館等へ保健師等が巡回するよう変更し、相談場所を拡充しました。	・産婦の健康診査費用の助成を開始します。 ・より身近な相談窓口とするため、令和2年度より、2歳児までの子育てひろば全てに保健師巡回を拡充します。	○
	ニーズに沿った子育て支援、待機児童ゼロ	・受入枠拡大に向けて、民間保育所等の整備を中心に事業を進めるとともに、民有地を活用した保育所等の整備促進に係る賃借料補助制度の期間延長や私立幼稚園預かり保育支援事業の拡充など促進策の充実に取り組みました。また、認可外保育施設利用料補助事業を拡充しました。 ・移動児童館は、初めての商業施設での開設を始めとした拡充を行いました。	・受入枠拡大に向け、民間施設の整備を中心に事業を進めるとともに、促進策の充実にも取り組んでいきます。 ・乳幼児等医療費助成制度の拡充に向けた検討を行います。 ・乳幼児健診実施時等における禁煙相談や、通学路等への路面シート設置による啓発を実施します。	△
	受動喫煙防止対策の推進	・県条例等の普及啓発に向けた取組について検討しました。 ・市長自身が街頭啓発に立ったほか、庁内喫煙マナーの徹底を行うなどしました。	・駅・バス停等への啓発看板等設置による啓発、駅前での啓発を実施します。 ・禁煙外来治療助成、禁煙相談を実施します。	○
	地域課題のスピード化 (1) 国道176号(名塩道路)整備促進	・国道176号(名塩道路)全線の早期完成に向けた要望活動を行ったほか、地元調整など国への事業協力をしました。 ・国において城山トンネル工事に着手するなど、着実に進捗しています。	・引き続き、名塩道路全線の早期完成に向けた要望活動を行うほか、地元調整など国への事業協力を実施していきます。	△
	地域課題のスピード化 (2) 阪急武庫川新駅(仮称)の新設推進	・4者検討会(鉄道事業者・兵庫県・尼崎市・西宮市)にて、新駅の設置に向けた協議を進めるとともに、令和元年度には、市長が出席する尼崎市との政策懇談会を2回開催し、その中で実現に向けた課題整理等を行っています。	・引き続き、新駅の設置に向けた関係者との協議を進めていきます。	→